



冷暖房設置工事など

6月定例会開催

1人当たり
平均課税額
13万4,836円
(前年比12.69%増)

1世帯当たり
平均課税額
19万1,858円
(前年比13.22%増)

今年度の国保税

6月定例会は国保議会ともいわれ、今年度の国民健康保険税を決める税条例が改正されました。財政運営主体が市町村から県に移行されていますが、按分率等は従来どおり村で算定しています。

国民健康保険税は当該年度に必要な医療給付費や後期高齢者支援金、介護納付金、今年度から新たに設けられた子ども・子育て支援金を加入者の所得や加入者数、加入世帯数を基に算出するものです。

国保に加入しているのは主に個人事業主（営業・農業等）、短時間勤務労働者や年金で生活している方々です。

今年度の特徴は令和7年度産米の米価の上昇に加え、最低賃金の引き上げや譲渡所得の増加により課税標準額が前年比19・7%の伸びや令和11年度からの税率の県下統一を踏まえ、一人当たり及び一世帯当たりの平均課税額を前年度と比較すると、それぞれ12・69%、13・22%の増となりました。

6月定例会は、16日から19日までの4日間の会期で開かれました。

内容は、村長提出案件15件（専決処分2件、条例改正5件、補正予算4件、契約1件、人事案件1件、村道路線認定1件、報告1件）および議員発議1件、合わせて16件が提出され、審議した結果、原案どおり可決しました。なお、陳情は1件提出され、審査の結果は4ページのとおりです。

令和8年度 国民健康保険税按分率

項 目		令和8年度	令和7年度	比 較	
応 能	所 得 割	医療給付費	6.19%	6.24%	0.05%減
		後期高齢者支援金	2.52%	2.40%	0.12%増
		介護納付金	2.25%	2.18%	0.07%増
		子ども・子育て支援金	0.30%	—	皆増
応 益	均 等 割 (加入者1人当たり)	医療給付費	24,300円	23,100円	1,200円増
		後期高齢者支援金	10,000円	8,900円	1,100円増
		介護納付金	11,500円	10,800円	700円増
		子ども・子育て支援金	※1,300円	—	皆増
	平 等 割 (1世帯当たり)	医療給付費	19,100円	19,700円	600円減
		後期高齢者支援金	7,800円	7,600円	200円増
		介護納付金	6,800円	6,900円	100円減
		子ども・子育て支援金	900円	—	皆増

※18歳以上の被保険者のみ

項 目		令和8年度	令和7年度	比 較
賦課限度額 (税の上限額)	医療給付費	67万円	66万円	1万円増
	後期高齢者支援金	26万円	26万円	(据え置き)
	介護納付金	17万円	17万円	(据え置き)
	子ども・子育て支援金	3万円	—	皆増

大玉中体育館の

令和8年度 6月補正予算

会 計 名	補 正 額	総 額
一般会計	2億8,351万円	52億8,441万円
国民健康保険特別会計	136万円	7億9,833万円
介護保険特別会計	180万円	9億1,947万円
水道事業会計(収益的支出)	—	1億6,596万円

※水道事業会計は、収益的支出の水道事業費用の予算総額を変えない編成を行った。

一 般 会 計【歳出 主なもの】

○ コミュニティ施設整備事業補助金	300万円
○ 大玉村を知りたい・行きたいプロジェクト事業業務委託料	880万円
○ 地域活性化起業人制度業務委託料	400万円
○ 道路等維持補修工事費	1 億円
○ 工業団地基本設計等業務委託料	2,167万円
○ 体育館空調設備設置工事費	8,800万円

6月定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第30号	大玉村税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第31号	令和7年度大玉村一般会計補正予算の専決処分の承認を求めることについて（3月専決）	原案可決
議案第32号	大玉村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第33号	平成23年東日本大震災による被災者に対する村民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第34号	大玉村社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第35号	大玉村介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第36号	アットホームおおたま設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第37号	令和8年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第38号	令和8年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第39号	令和8年度大玉村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第40号	令和8年度大玉村水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第41号	大玉村立小中学校学習用タブレット端末購入に係る物品売買契約について	原案可決
議案第42号	村道路線の認定について	原案可決
議案第43号	大玉村農業委員会委員の任命について	同 意
議員発議第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	原案可決

人事案件

大玉村農業委員会委員の
任命の同意

平成28年から農業委員会委員は、選挙を行う「公選制」から、公募を行い村長が任命する「任命制」に法改正されました。

任期満了に伴う7月20日からの新たな農業委員会委員9名の任命について同意しました。任期は、令和11年7月19日までの3年間で、新しい委員は次の方々です。（敬称略）

氏 名	住 所
渡邊 康男	玉井字大橋
後藤 忠	玉井字茶塚
安田賢太郎	大山字島向
遠藤 勝栄	大山字大血久保
佐原 弘美	大山字明路内
遠藤 清人	大山字池下
小沼 久幸	玉井字馬喰内
佐原 洋一郎	玉井字反田
古川 沙織	玉井字西庵

6月定例会に提出された陳情

件 名	提 出 者	付託委員会	審査結果
「地方財政の充実・強化を求める意見書」 の提出を求める陳情について	二本松市高田 日本労働組合総連合会福島県連合会 二本松・安達地区連合会 議長 高橋 誉	総務文教	採 択

議員発議

意見書 1 件を提出

意 見 書	提 出 先
地方財政の充実・強化を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、衆議院議長、参議院議長

※意見書とは…地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめたもの。地方自治法第99条には、「地方自治体の議会は、当該普通公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」と規定されている。具体的には、議員が発議して本会議にはかり、議長名で関係機関に提出する。



6月定例会では、6月18日に6人、19日に1人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁を要約した内容は、通告順に5ページから11ページです。

さいとう しんいち 斎藤 信一	1. 地域活性化起業人制度の検証を 2. 小規模事業者金融と経営の支援を	5ページ
さわら さゆり 佐原佐百合	1. 命を守る行動を 2. プログラミング教育の推進を	6ページ
わたなべ けいこ 渡邊 啓子	1. 施設けんしんができる病院の拡充を 2. ごみの分別と減量化のさらなる推進を	7ページ
すがはら たかこ 菅原 貴子	1. 医療的ケア児のコーディネーター配置は 2. (仮称)大玉スマートICの情報発信は	8ページ
さんべい けんいち 三瓶 賢一	1. 組加入の現状と課題を問う	9ページ
すどう ぐんぞう 須藤 軍蔵	1. 原油高騰の影響から暮らしと経営を守る 2. 支障木の伐採をより迅速に	10ページ
たけだ えつこ 武田 悦子	1. 介護保険制度の充実を 2. 一人暮らし世帯の課題と対応は	11ページ

※一般質問…議員が村の行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をたずねること。
大玉村議会の一般質問は、一人30分以内で答弁時間は含まない。

一般質問

ここが聞きたい！
7人の議員が登壇

地域活性化起業人制度の検証を

質問趣旨

地域活性化起業人制度の運営体制を強化し、事業執行の透明性を問う。

齋藤 信一 議員



齋藤 農業振興公社に新規就農者確保プロジェクトCEO補佐官が配置された。これまでの実績や専門性、派遣企業の選定理由は、

産業建設部長 宮城県利府町で地域おこし協力隊の農業支援プロジェクトを管理し、梨農家の担い手不足の課題解決に取り組んできた。新規就農者募集に必要な広告やメディア運営の専門的知見もある。企業3社の中で実務経験がある企業に決定した。

齋藤 どのような成果を期待するのか。

産業建設部長 将来の担い手の確保や育成、就農支援の構築である。

齋藤 どのように評価するのか。成果によっては契約の見直しはあるのか。

産業建設部長 日々の業務の進捗確認や毎月の活動報告で評価を行う。成果が確認できれば契約を終了することもでき、負担金も勤務実績に応じた支払となる。

齋藤 契約や事業執行の透明性を伺う。

産業建設部長 村は振興公社に業務を委託し、公社が起業人に再委託する場合は村の承認が必要となる。役員会などで事業を確認し、適正な執行に努める。

小規模事業者金融と経営の支援を

質問趣旨

物価高騰が続く中、小規模事業者の資金繰りや経営支援のあり方を考える。

齋藤 原材料費や光熱費、物流費の高騰に加え、人手不足も重なり、小規模事業者は利益を削りながら経営を続けている。村は現状をどう認識しているか。

産業建設部長 多くの事業者が価格転嫁できず利益が減少するなど、経営環境は非常に厳しいと認識している。商工会の調査で多くの事業者が物価高騰の影響を受け、今後の経営の見通しは厳しいと回答している。

齋藤 融資制度の限度額や融資期間の拡充、利子補給制度を見直すべきではないか伺う。

産業建設部長 制度の利用実績や商工会との協議、財政状況などを踏まえ検討したい。

齋藤 「借りて終わり」ではなく「借りて立て直す」ことが重要である。金融と経営を併せて支援すべきではないか。

産業建設部長 経営改善や販路開拓も重要であり、商工会と連携し、国、県の支援制度も活用しながら検討していきたい。

村長 商工会や企業連絡協議会などの懇談を通して経営状況を把握し、財源も含め前向きに検討していきたい。

令和7年度補正予算
販路開拓等に取り組む皆様へ

「小規模事業者持続化補助金（通常枠）」
地域の雇用や産業を支える小規模事業者等の生産性向上と持続的発展を図ることを目的とし、持続的な経営に向けた経営計画に基づく販路開拓等の取組を支援します

【事業目的】
小規模事業者等が経営計画を自ら策定し、商工会・商工会議所の支援を受けながら取り組む販路開拓等を支援
※ 経費助成対象は「商業・サービス業（宿泊業、飲食業を除く）」の場合5人以下、製造業またはそれ以外の業種の場合は20人以下である事業者

【補助上限】
50万円
（特例を活用した場合は最大250万円）

【補助率】
2/3
（資金引上げ特例活用事業者のうち赤字事業者については3/4）

【第20回公募スケジュール】
公募要領公開：5月27日（水）
申請受付開始：11月5日（木）
申請受付締切：12月15日（火）

【関連融資制度】
自己負担 補助対象経費の資金調達に活用できる無担保・無償返済の融資制度「小規模事業者経営改善融資（マル経融資）」の制度額：2,000万円
※融資金の利用額は、一定の条件・審査が必要です。
※、最長1年以上同一施設内で事業を行う1年以上の期間以上、お近くの商工会、商工会議所にお問い合わせください。

経済産業省 中小企業庁 中小機構

他に次の質問がありました。
・和牛登録検査場の環境整備を

命を守る行動を

質問趣旨

ハザードマップから危険箇所を読み取り、防災意識を高め、災害時の行動につなげる。



佐原佐百合議員

佐原 新たに作成する百日川の洪水ハザードマップに防災気象情報の変更内容を反映し、周知する考えは。

住民福祉部長 これまでの防災フェアに追加や変更箇所の差し替えができるように作成している。ホームページや今後実施予定の公式LINEなどで周知していきたい。

佐原 行政区や自主防災組織と連携して、ハザードマップの説明会などを実施する考えは。



家庭に配付されている防災ファイル

住民福祉部長 要請に応じて職員が伺い実施している。9月の防災フェアでは、ハザードマップを活用し、自分の住む地域を確認していただく機会を設ける予定である。

佐原 防災フェアで、ハザードマップを活用しながら実践的な訓練を取り入れる考えは。

住民福祉部長 防災フェアは楽しみながら学ぶイベントを考えている。実践的な訓練は地域の実情に応じて進めていきたい。

プログラミング教育の推進を

質問趣旨

AIなどの技術が急速に進展し、社会が大きく変化する中、子どもたちがよりよく学べる環境が必要ではないか。

佐原 プログラミング教育の課題は。

教育部長 教員の負担や教材の不足、安全なインターネット利用、手書きをする機会の減少、適切なメディアバランス※が課題である。

佐原 ICT環境や教材の充実。

教育部長 10月以降を目標にタブレット機器の更新を予定している。

教育長 学年の発達段階に応じて、さらに必要な教材があれば学校と連携をしながら充実に努めていきたい。

佐原 体験型のプログラミング学習を導入する考えは。

教育部長 ICTに特化した企業が身近にあり、協力をいただけるのであれば検討し、情

報収集に努めたい。

佐原 プログラミング教育を通して、子どもたちに身に付けてほしい力。

教育長 プログラミング教育は自分で考えて判断し、複雑な社会を生き抜く力を育てるための一つの手立てである。最終的に自分の力

で生きる力を身に付けてほしい。

※メディアバランス：心身ともに健康で幸せな生活を送るために、メディアの利用と睡眠や食事、趣味、家族との時間などをバランス良く両立させること。



大竹国民中学でドローンを操作する大玉中の生徒（令和6年）

施設けんしんができる病院の拡充を

質問趣旨

生活習慣病の予防、早期発見、早期治療には、健診を受けやすくすることも重要である。

わたなべ けいこ
渡邊 啓子
議員



渡邊 郡山市内で基本検診ができる施設けんしん実施医療機関は。**住民福祉部長** 総合南東北病院、桑野協立病院の2医療機関である。

渡邊 子宮がん検診ができる郡山市内の病院が増えている理由は。**保健課長** 安達管内で婦人科検診を受診できる医療機関が少なく、以前から郡山医師会と契約し検診を進めてきたため受診できる郡山の医療機関が増えている。

渡邊 郡山市内のかかりつけ医で施設けんしんを受診したい方もいる。郡山市内の病院を増やせないか。**住民福祉部長** 施設けんしん実施医療機関の拡大はこれからの検討課題である。特定健診は県全体での見直しを検討されており、国民健康保険税の県内統一にあわせ、県内のどこでも希望する医療機関で受診できる体制づくりが進められている。



早期発見、早期治療を

ごみの分別と減量化のさらなる推進を

質問趣旨

ごみステーションで回収されないごみを度々見かける。正しい分別の徹底とごみの減量化が必要である。

渡邊 ごみの分別の効率的な啓発は。**住民福祉部長** 広報紙やホームページで周知している。ごみの分け方・出し方の冊子を分かりやすくリニューアルし、12月頃に全戸配付する予定である。

渡邊 ごみの減量化対策は。**住民福祉部長** 村では食べ残しを減らすダブルクオーター運動※を商工会や飲食店と連携を図りながら取り組んでいきたい。

渡邊 小中学校では、ごみの分別や環境問題を学ぶ機会は。**教育部長** 小学4年生は、もとみやクリーンセンターを見学し、ごみの分別やリサイクルを学んでいる。中学校

では、地球温暖化などの環境問題やSDGsの授業、生徒会のアルミ缶回収を通して学習している。

渡邊 ごみ収集日の朝は役場裏のごみステーション周辺が渋滞し危険である。一般質問をしてきたが、現状をどう考えているのか。

住民福祉部長 居住地域のごみステーションの利用を推進し、ごみ

出しのルールやマナーの向上を啓発していきたい。改善が見られない場合は、管理上のカメラの設置を検討していきたい。

※ダブルクオーター運動：懇親会などの最初と最後の15分間は席を立たずに食事をすることで食べ残しを減らす村の取り組み。



回収されずに残されたごみ

医療的ケア児のコーディネーター配置は

質問趣旨

たんの吸引や経管栄養などが必要な医療的ケア児と支援機関を橋渡しするコーディネーターの現状を伺う。

菅原 貴子 議員



菅原 県の統計では2020年から2025年の5年間で医療的ケア児が1・5倍に増えている。村内には何名いるのか。

住民福祉部長 2

名いるが、公的医療支援は必要としていない。

菅原 医療的ケア児の増加に伴い、県は支援体制の充実が必要であるとして、コーディネーターをいつ頃までに配置するのか。

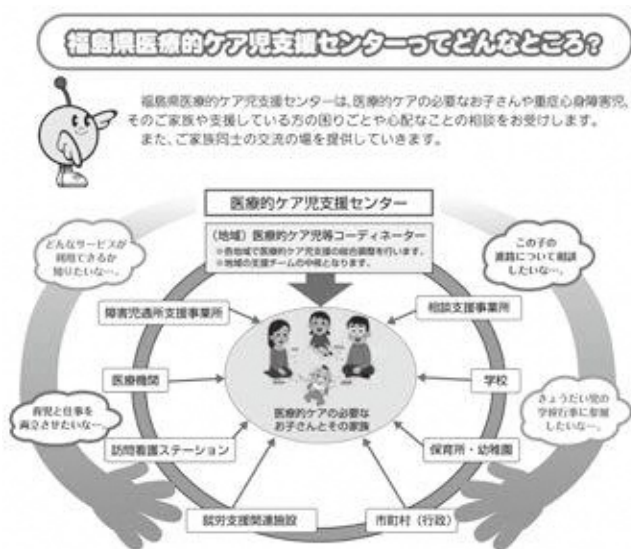
住民福祉部長 安達管内の障害者相談支援事業所に受講を促し、安定的な確保に努めている。

住民福祉部長 今年度内に安達管内の3市村共同で配置を計画している。障害者相談支援事業所と委託契約により実施していくことを検討している。

菅原 コーディネーターは医療的ケア児の支援に重要である。養成の計画は。

住民福祉部長 安達管内の障害者相談支援事業所に受講を促し、安定的な確保に努めている。

菅原 医療的ケア児の増加に伴い、県は支援体制の充実が必要であるとして、コーディネーターをいつ頃までに配置するのか。



(仮称)大玉スマートICの情報発信は

質問趣旨

村民の理解を得て事業を円滑に実施するためには、タイムリーな情報発信が必要ではないか。

菅原 (仮称)大玉スマートICの関連事業の進め方と実施状況を伺う。

産業建設部長 測量や土質調査などの作業がスタートする。村は将来の自立と発展に向けて、まちづくりとして、スマートICの整備とともに、周辺に工業集

積拠点と地域振興拠点を一体的に形成する大玉ゲートウェイ構想を掲げており、地権者のご理解が得られ次第、企業誘致を進める予定である。

菅原 村民や関係者から円滑な協力を得るには、情報を切れ目なく発信していくことが重

要である。村の考えは。

産業建設部長 ホームページのトップ画面に大玉ゲートウェイ構想のまちづくりが一目でわかるようにするなど、工夫を凝らした情報発信を心がけていきたい。



地域の将来像と一体となった大玉ゲートウェイ構想



組加入の現状と課題を問う

質問趣旨

村の人口増加率は県内トップだが、組の加入率の推移から見えるコミュニティの問題は。

三瓶 自治会の組に加入している世帯数と加入率を伺う。

総務課長 令和4年4月は2189世帯、8年4月は2187世帯である。あくまで参考数値だが、住民基本台帳上の組に加入する世帯数の割合は4年4月が72・22%、8年4月が67・35%である。

三瓶 組の加入率の傾向をどう捉えているのか。

総務課長 世帯数が増えても組の加入率に繋がらないのは、世帯分離やアパートの増加も主要因と推察される。コミュニティ維持の観点からも好ましいことではないと捉えている。

三瓶 組などが設置しているごみステーションは何箇所あるのか。

住民福祉部長 112カ所である。



組が運営する整然としたごみステーション

三瓶 役場裏のごみステーションは組に加入されていない方の受け皿になっていないか。

住民福祉部長 役場裏のごみステーションは役場から出るごみの集積所として設置しているが、さまざまな理由で利用されている方がいる。今後は対策を検討していきたい。

三瓶 一人暮らしや老々世帯の方が組を抜ける問題があるが、村の考えは。

総務部長 組によっては役員やクリーンアップ作戦などの作業を免除している組もある。村としては組や区の加入促進を図るために、区や組の実態、他の市町村の取り組みを学んで検討していきたい。

三瓶 自主防災組織の数は。

住民福祉部長 7団体がある。

三瓶 組織を立ち上げる際の村の支援を伺う。

住民福祉部長 村担当職員が必要に応じて各地域に伺い、自主防災組織の役割や必要性を説明し、立ち上げに必要な書類作成の支援も行っている。

三瓶 組には、地域の環境整備や防災、防犯など暮らしにまつわる働きがある。転入してきた世帯や未加入世帯が組に加入してもらえようという取り組みなのか。

総務部長 窓口で組への加入を今まで以上に推進するとともに、地域の皆さんと一体となつて加入促進を図っていききたい。その一つとして区長会の意見交換会を検討していきたい。



初めて開催された自主防災組織代表者会議（6月29日）

原油高騰の影響から暮らしと経営を守る

質問趣旨

中東情勢の原油高騰やナフサ不足が暮らしを直撃している。村ができる支援は。

須藤 軍蔵 議員



物価高騰が暮らしを直撃

須藤 原油高騰やナフサ不足があらゆる事業に影響を及ぼしている。村内ではどういう影響が出ているのか実態を調査すべきではないか。

村長 現状を大変危惧している。商工会と連携し状況を把握し、できる支援を検討していきたい。

須藤 物価高騰対策の村独自の支援策の考えは。

村長 農業や商工業、暮らしのすべてを支援するのは村の財政規模から難しいが、国の交付金や補正予算も含め、どのような対応ができるか検討していきたい。

須藤 村だけでできることではない。関係する自治体や関係機関と連携し、国に対応を求めるべきではないか。

村長 町村会でも国の支援を強く求めている。これから要望していきたい。

支障木の伐採をより迅速に

質問趣旨

土地の所有者が分からない支障木に苦慮している。行政の柔軟な対応を求める。

須藤 支障木の土地の所有者が地元では分からない場合がある。行政が土地所有者に連絡を取り対応しているのか。連絡が取れない場合の対応は。

産業建設部長 土地の所有者と連絡が取れなく、支障木により安全な通行に支障を来す場合は、道路法や民法により村で伐採するようにしている。

須藤 道路をふさいで危険な場合は、村が対応できないか。

産業建設部長 状況に応じて村が対応できるものは対応したい。

須藤 伐採した支障木の活用を検討したいと村長が3月の一般質問で答弁したが、活用の方策を伺う。

住民福祉部長 村内でまきストーブを使用している方が燃料として活用できないか検討している。

住民生活課長 まきストーブの購入に補助金を交付した方と支障木の活用を検討していきたい。



燃料として活用が期待される支障木

他に次の質問がありました。
・補助金等支出団体の支援と現状について

武田悦子 議員



介護保険制度の充実を

質問趣旨

3年に一度改定される介護保険事業計画が住民のニーズを反映した村民に寄り添った制度にするために。

武田 第10期介護保険事業計画の来春の策定に向けたスケジュールを伺う。

住民福祉部長 介護保険事業計画の策定業務委託契約を締結したところである。これから介護保険運営協議会において計画の概要や骨子案、スケジュール案を協議し、年明けにはパブリックコメントを実施し、最終案を調整していく予定である。

武田 計画策定に向けてアンケートは実施したのか。

住民福祉部長 昨年度に高齢者を対象にニーズ調査を行っている。



頭と体の健康倶楽部で健康寿命の延伸を

武田 来年度からの介護保険料を抑えるために介護保険の基金を充てられないか。

住民福祉部長 現在の基金残高は施設などに支払う給付費の1ヵ月分ほどなので、保険料に充てることは難しい。

武田 介護保険の財政構造に問題があると思う。国の負担を増やすよう求めるべきではないか。

村長 社会保障制度を手厚くしてほしいと感じている。町村会でも要望をしているところである。

武田 村の人口や家族構成はどのように変化してきたのか。

住民生活課長 令和7年と30年前の平成7年を比較すると人口は8339人から8810人、世帯数は1803世帯から3247世帯に増え、一世帯当たりは4・63人から2・71人に減っている。

武田 一人暮らし世帯が増えているが、どのような課題があり、どう対応しているのか。

住民福祉部長 孤立や孤独感、高齢の心身の影響による日常生活の困難、死後への不安などの解消が課題と考える。これまで担当課や地域包括支援センターの相談支援、民生委員による訪問などで対応

一人暮らし世帯の課題と対応は

国勢調査で人口が増えているが、家族構成が変化し、一人暮らし世帯も増えている。村の取り組みは、

してきた。今後は村社会福祉協議会と連携し、体制の構築を検討していきたい。

武田 判断能力が衰えてきた場合に備えて、成年後見制度や市民後見制度、法人後見制度が重要になる。身寄りのない高齢者の日常だけでなく、亡くなった後までの支援の必要性をどう考えているのか。

住民福祉部長 成年後見制度の理解と必要性の周知に努めるとともに、村社会福祉協議会と連携を密にし、行政として一人暮らしの方の支援など体制の構築を進めていかなければならないと考える。



の意見の広場 6月16日(火)

居場所(コミュニティ)を話し合おう



班の名前を決めて、班ごとに6年生が発表し、みんなの意見を共有しました。



テーマの「元気になる」というキーワードでは、大玉は米がうまい、安達太良山がある、自然が豊かという意見がありました。「居場所」や「コミュニティ」を実現するため、維持するために何が必要かとの問いに、人、技術、勉強、研究と答えたグループもありました。

私たち議員は、子どもらしい自由な発想や村への思いに感心し、元気いっぱいの6年生に圧倒され、新鮮でした。

最後に校長先生と教頭先生から講評をいただきました。

大山小6年生と議会

テーマ

大玉のみんなが集い、元気になる

大山小の6年生が議会を傍聴したいという話がきっかけで、「大山小6年生と議会の意見の広場」を開催することができました。初めての試みです。まず、議会を知ってもらうために、議会とは何か、議員はどんな仕事をしているか、何歳になると議員に立候補できるかを話しました。身近な暮らしの課題を解決することも政治であり、人づくりや地域づくりも大事なことも話しました。

6年生と議員が4つの班に分かれ、自己紹介の後、テーマの「みんな」とは、「集う」とは、「居場所」とは何かを話し合いました。



第18回 つなぐ つながる 笑顔



柳田 朝柊 さん

大玉村の議員さんたちと大玉村のよいところなどを話し合いました。議員さんたちは、ぼくたちの話をしっかり聞いてくれました。議会の見学では、議員さんは30分という限られた時間の中で質問することを知りました。

大山小6年生の感想

6年生が6月18日に議会を傍聴しました。

6月16日の「大山小6年生と議会の意見の広場」や議会を傍聴した感想を紹介します。



遠藤 和希 さん

議会を見学して驚いたことは、議員さん全員、真剣だったことです。前に話し合いをした時には、やさしい印象だったけど、村民が快適に暮らせるように、真剣に話し合っていることがわかりました。



遠藤 凜花 さん

議員さんとうしたら安心して暮らせるかについて話し合いました。否定しないで聞いてくれてうれしかったです。2時間でたくさん大玉村のことを考えました。村議会では、みんなを納得させるような話し方で、真剣に話し合っていました。



大内 歩 さん

議会を見学して、議員さんたちは大玉村全員のことを思いながら話し合っているのが伝わってきました。みんな真剣に話し合っていて、かっこいいと思いました。



北山 結翔 さん

議会の見学では、みんなが真剣に話し合っていました。その中で、10月にタブレットが新しくなるという発言が心に残りました。6月19日の会議で決まるそうです。ぼくたちのことも話し合ってくれていることが分かりました。



岡崎 栞里 さん

議会の見学をして、村の子どもたちのことを真剣に考えている様子が伝わってきて、すごいと思いました。他にも施設けんしん契約病院の拡大など、村民のことを考えて話し合っていることがよく分かりました。



本田くるみ さん

大玉村に住む私たちのためにこんなに話し合ってくれていることを考えると、私もごみの分別などはできることなので、がんばりたいなと思いました。「村をもっとよくしたい」という議員さんたちの思いが伝わってきました。



國分 紗羅 さん

議員さんとの交流や議会見学を通して、議員さんたちが話し合っていること(政治)は、私たちにとって遠い話ではなく、身近なことなんだと気づくことができました。議員の皆さん、ありがとうございました。



杉原 千尋 さん

議会見学でぼくは渡邊議員さんの一般質問が印象に残りました。理由は、村の人たちの生活習慣病の早期発見や、ずっと健康でいるためにはどうするかを考えてくれているのがよく分かったからです。



菊地 圭悟 さん

議会見学をして、議場では村長さんよりも議長さんの立場が上だということに驚きました。また、ぼくは大玉村がきれいだと思っていましたが、ごみステーションや分別の仕方など、意外と問題を抱えていることにも驚きました。